

# 国際スケート連盟コミュニケーション第 1741 号

## シングルおよびペア・スケートティング

### 第 54 回 ISU 総会で承認された特別規程および技術規程の変更点

#### I. 技術規程の変更点

シングルおよびペア・スケートティング（シニアおよびジュニア）：

- a) リフト、ツイスト・リフト、デス・スパイラル（ペア）、スピンのステップ（シングルおよびペア）は、獲得した特徴の数に応じて5つの難度レベルに分類される。すなわち、獲得した特徴が無しの場合にはベーシック・レベル、特徴が1つの場合にはレベル1、特徴が2つの場合にはレベル2、特徴が3つの場合にはレベル3、特徴が4つ以上の場合にはレベル4となる。
- b) レイバック・スピン、サイドウェイズ・リーニング・スピンの定義：レイバック・スピンは、頭部および肩部が後ろに傾き背が弓形のアップライト・スピンである。フリー・レッグの位置は自由である。サイドウェイズ・リーニング・スピンは、頭部および肩部が横に傾き上体が弓形のアップライト・スピンである。フリー・レッグの位置は自由である。
- c) アップライト・スピン姿勢の定義：スケートティング・レッグを伸ばし、あるいは少し曲げ行うキャメル姿勢を除いた全ての姿勢
- d) スピン姿勢：基本姿勢（アップライト、シット、キャメル）の基準に従わない姿勢はすべて非基本姿勢とする。変化に富んだスピンを評価するために、スピン・コンビネーションにおいては非基本姿勢における一つの難しいバリエーションをレベルを上げるための特徴として数えることができる。
- e) ソロ・スピン・コンビネーションの定義：スピン・コンビネーションは少なくとも2つの基本姿勢を含まなければならない、そのいずれの姿勢でも2回転が必要である。2回転を行った基本姿勢が3姿勢に満たない場合、それはスピンのレベルに反映される。
- f) ステップ・シーケンスでは、要求される形状はもはや存在しない。しかしながら、ステップ・シーケンスは氷面を十分に活用したものでなければならない。
- g) コレオグラフィック・シーケンスはフリー・スケートティングにおける以前のコレオグラフィック・ステップ・シーケンス（シニア男子）およびコレオグラフィック・スパイラル・シーケンス（シニア女子、シニアおよびジュニア・ペア）に代わるものである。コレオグラフィック・シーケンスは、ステップ、ターン、スパイラル、アラベスク、スプレッド・イーグル、イナ・バウアー、ハイドロブレディング、（リストに無い）繋ぎのジャンプ、スピン動作といったあらゆる種類の動きから構成される。女子のコレオグラフィック・シーケンスでは、任意の長さの少なくとも1つの（キックでない）スパイラルを含まなくてはならない。ペアのコレオグラフィック・シーケンスでは、各パートナーによる任意の長さの少なくとも1つの（キックでない）スパイラルを含まなくてはならない。シーケンスはスケーターの最初の動作で開始され、最後の動作で終了する。シーケンスの形状の制約はないが、氷面を十分に活用したものでなければならない。この要件が満たされない場合には、シーケンスは無価値となる。コレオグラフィック・シーケンスは、ステップ・シーケンスの後に行われなければならない。コレオグラフィック・シーケンスには基礎値があり、ジャッジのGOEのみで評価される。
- h) リフトの要件：男子は最小1回転、最大3回転半。女子の最小回転数の要件は存在しない。

- i) シニア・ペア・フリー・プログラム：最大3つのリフトおよび最大1つのツイスト・リフトが認められる。もはや2つのリフトおよび2つのツイスト・リフトを行うことはできない。
- j) ジュニア・ペア・フリー・プログラム：プログラムには、最大1つのソロ・スピン・コンビネーションおよび最大1つのペア・スピン・コンビネーションを含まなくてはならない。
- k) ISU選手権大会では、ジャッジは2つ以上の種目を担当してはならない。

## II. 特別規程の変更点

- a) シングル・スケーティングのショート・プログラムでは、プログラム中の難度が均等に分布していることを評価するため、プログラム後半に開始されたすべてのジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)は特別に1.1倍される。ショート・プログラムでプログラム後半に行われたすべてのジャンプ要素では、基礎値に係数を乗ずる際は、それぞれ四捨五入して小数点以下2桁まで求める。後半部分の開始は最長時間の中央からであり、すなわち1分25秒である。
- b) コスチューム／装飾の一部が氷上に落ちた場合には、レフェリーは-1.0の減点を適用する。
- c) 国際ジャッジへの初指名の要件として、推薦された候補者は国際ジャッジの初指名のためのISUセミナーを完了し、国際ジャッジのためのISU試験に合格しなければならない。
- d) 国際レフェリーへの初指名の要件およびISUレフェリーへの昇格の要件として、推薦された候補者はISUレフェリー・セミナーを完了し、国際レフェリーまたはISUレフェリーのためのISU試験に合格しなければならない。
- e) 2014-2015シーズンから、歌詞を伴うボーカル音楽が許される。

ミラノ

2012年6月22日

ローザンヌ

ISU 会長 **Ottavio Cinquanta**

ISU 専務理事 **Fredi Schmid**

日本語訳： 2012年6月26日 第1版